

日本マイコトキシン学会 第73回学術講演会プログラム

日 時：2013年9月13日(金) 10:30~17:20

場 所：大阪府立大学 学術交流会館 (〒599-8531 堺市中区学園町1-1)

プログラム

10:30-10:40 開会挨拶 山本容正 (大阪府立公衆衛生研究所)

10:40-11:40 一般講演 (O-1~O-4)

座長：宮崎 茂 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構)

O-1 T-2 トキシンおよびデオキシニバレノールの心筋細胞ミトコンドリア機能に及ぼす影響

○局 博一

東大・食の安全研究センター

O-2 ジケトピペラジン型アフラトキシン生産阻害物質生産細菌 *Stenotrophomonas* sp. を利用したアフラトキシン汚染防除

Usuma Jermnak^{1,3}、Amara Chinaphuti²、Amnart Poapolathep³、河合 亮¹、長澤寛道¹、○作田庄平¹

¹東大院農生科・応生化、²タイ農業省、³カセサート大学

座長：木村 真 (名古屋大学大学院)

O-3 *Fusarium fujikuroi* の G 系統株に見出だされたフモニシン産生遺伝子クラスターの部分欠失と FUM 遺伝子の発現異常

○須賀晴久¹、スコット暁子¹、景山幸二²、北嶋美葉³、清水将文³、百町満朗³

¹岐大生命セ、²岐大流域研セ、³岐大応生

O-4 AAL 毒素生合成遺伝子クラスターとフモニシン生合成遺伝子クラスターの比較解析

○赤木靖典¹、柘植尚志²、石原 亨¹、難波英二³、児玉基一朗¹

¹鳥取大農、²名大生農、³鳥取大医

11:40-11:50 休憩

11:50-12:20 一般講演 (O-5~O-6)

座長：藤田和弘 ((一財) 日本食品分析センター)

O-5 穀類中のステリグマトシスチン分析法の開発とその妥当性確認

○佐々木理紗¹、Hossain Md Zakir¹、安部なつみ¹、内ヶ島美岐子²、後藤哲久¹
¹信州大・農、²堀場製作所

O-6 Q-body 法によるデオキシニバレノール(DON)の測定

○大橋広行¹、阿部亮二¹、松本裕幸¹、高木広明¹、大川秀郎¹、吉成知也²、
小西良子³
¹ウシオ電機、²国立医薬品食品衛生研究所、³麻布大学

12:20-13:50 昼食 ランチョンセミナー (L-1~L-3)

L-1 マイコトキシン分析ツールのご案内

株式会社 堀場製作所 & 株式会社 プラクティカル

L-2 チャーム ROSA ラテラルフローキットと新 EZ-M システム

フォス・ジャパン株式会社

L-3 質量分析装置を用いた微生物同定法 - MALDI Biotyper -

ブルカー・ダルトニクス株式会社

13:50-14:50 特別講演

座長：川口剛司 (大阪府立大学)

「植物病原性糸状菌の自然免疫回避機構の解明と防除への応用」

○西村麻里江
農業生物資源研究所

14:50-15:30 ポスターセッション (P-1~P-10)

P-1 組換え体 AfIR の発現と精製

高城景子、長澤寛道、○作田庄平
東大院農生科・応生化

P-2 デオキシニバレノール、ニバレノールの定性・定量における GC/MS、HPLC および LC/MS/MS の比較検討

○山口之彦、清水 充
大阪市環科研

- P-3** トリコテセン産生性フザリウム属菌の代謝工学-毒素産生メカニズムの解明と希少有用セスキテルペンの大量生産に向けて
○鬼頭良幸、中嶋佑一、前田一行、市川雛代、小林哲夫、木村 真
名大農・院生命農学
- P-4** 多重遺伝子破壊酵母によるトリコテセン簡易検出系の構築
○田中 彰、杉山智樹、鎌田賢太郎、多久島 遼、宇佐美 論、吉田泰彦、越後輝敦、
峯岸宏明、安藤直子
東洋大・工研
- P-5** トリコテセン自己耐性遺伝子 *Tri101* の HEK293 細胞への導入と C-3 位アセチル化体の毒性評価
○多久島 遼、田中 彰、鎌田賢太郎、安藤直子
東洋大・工研
- P-6** 異なる *Fusarium* 属菌の遺伝子破壊株とフィーディングを用いた非天然型トリコテセンの創成
○鎌田賢太郎、田中 彰、杉山智樹、多久島 遼、安藤直子
東洋大・工研
- P-7** トリコテセン C-4 位アセチル化酵素 TRI7 の性状解析
○杉山智樹、田中 彰、安藤直子
東洋大・工研
- P-8** 微生物細胞を用いたトリコテセン系マイコトキシンの毒性評価
○鈴木忠宏、岩橋由美子
(独) 農研機構 食総研
- P-9** 蛍光指紋計測による小麦粒中の赤かび病ウイルス検出法の開発
○藤田かおり¹、蔦 瑞樹¹、吉村正俊¹、杉山純一¹、粉川美踏²、柴田真理朗¹
¹(独) 農研機構 食総研、²東大院農生科
- P-10** *Alternaria alternata* 植物病原菌の宿主特異的毒素生産における global regulator *LaeA* ホモログの関与
○高尾和実¹、赤木靖典¹、柘植尚志²、石原 亨¹、難波英二³、児玉基一朗¹
¹鳥取大農、²名大生農、³鳥取大医

15:30-16:10 トピックス (T-1~T-2)

座長：久米田裕子（大阪府立公衆衛生研究所）

T-1 環境危害性カビの活性・不活性

- 高鳥浩介
NPO 法人カビ相談センター

T-2 糸状菌セルラーゼ遺伝子群の転写活性化機構の解析

- 國武絵美¹、谷 修治²、炭谷順一²、川口剛司²
¹名大院・生命農、² 阪府大院・生環科

16:10-17:10 シンポジウム「フザリウムトキシンの今」(S-1~S-3)

座長：杉浦義紹（神戸市環境保健研究所）

中島正博（名古屋市衛生研究所）

S-1 高速液体クロマトグラフィー質量分析法によるフザリウムトキシン分析に関する最新の知見

- 中川博之
農研機構 食品総合研究所

S-2 日本の市販品におけるデオキシニバレノール、T-2 トキシン、HT-2 トキシン及びゼアラレノンの汚染実態

- 吉成知也
国立医薬品食品衛生研究所

S-3 トリコテセン系毒素産生制御機構の解明と汚染低減化に向けた基盤研究

- 前田一行¹、中嶋佑一¹、市川雛代¹、鬼頭良幸¹、古崎貴大¹、斉藤臣雄²、
本山高幸²、長田裕之²、小林哲夫¹、木村 真¹
¹名大農・院生命農学、²理研・基幹研

17:10-17:15 次回学術講演会世話人挨拶 小西良子（麻布大学）

17:15-17:20 閉会の挨拶 久米田裕子（大阪府立公衆衛生研究所）

.....

17:30-19:00 懇親会 大阪府立大学 学術交流会館 サロン